

平成30年10月15日発行（1,4,10月の各15日発行）

徳島県治山林道協会

# 治山林道協会報

NO.196  
10<sup>2018.</sup>  
月号



第34回治山林道写真コンクール **最優秀賞** 河野 司

目次

CONTENTS



- |                        |     |                             |      |
|------------------------|-----|-----------------------------|------|
| ● 第60回通常総会開催           | … 1 | ● 平成30年7月豪雨における森林土木関係被害について | … 10 |
| ● 平成30年度治山林道・四国地区協議会開催 | … 3 | ● お知らせ(平成30年度治山林道技術研修会)     | … 11 |
| ● 第30回施工委員会を開催         | … 4 | ● 本協会の主な動向(5月~10月)          | … 11 |
| ● 森林土木総合技術研修に参加して      | … 9 | ● 備忘録                       | … 11 |

題字 山口俊一



# 第60回 通常総会開催



第六十回徳島県治山林道協会総会が、七月九日に徳島市の徳島県建設センターにおいて開催されました。今年には西日本豪雨災害発生の一週間の開催となり、来賓、会員約九十名参加の総会となりました。徳島県においても西部地域で大きな被害を受け、林野庁からの来賓や会員方々の出席にも影響が生まれました。総会は、山口会長のあいさつで始まり、続いて表彰式が行われました。今回の表彰は、第四十回林道優良維持管理者の知事表彰、治山林道協会会長表彰、平成二十九年年度優良工事施工者表彰の治山部門、林道部門、森林整備部門、第三十四回治山林道写真コンクールの各協会会長表彰を行いました。それぞれの栄えある受賞の方々は次のとおりです。受賞された皆様、受賞誠にありがとうございます。

今回、来賓として御出席頂いた方々は次のとおりです。

徳島県副知事 後藤田博様、徳島県議会議長 重清佳之様、(二社)日本治山水協会専務理事 津元頼光様、(二社)全国森林土木建設業協会専務理事 高畑博之様をはじめ他にも徳島県農林水産部長 川合規史様等多くの方が来賓として出席して下さいました。

議事は、議案第一号「平成二十九年事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「平成三十一年度事業計画並びに収支予算の承認について」、議案第三号「平成三十年借入金金の最高限度額の承認について」、議案第四号 その他について、でありいずれも原案どおり承認されました。



徳島県副知事  
後藤田 博 様



徳島県治山林道協会会長  
山口 俊一 様



全国森林土木建設業協会  
専務理事  
高畑 博之 様



日本治山林水協会専務理事  
津元 頼光 様



徳島県議会議長  
重清 佳之 様

## 第34回 治山林道 写真コンクール入賞者

### ○ 最優秀賞 1点

河野 司 神山町

### ○ 優秀賞 3点

中西 義貢 徳島市

和田 豊一 那賀町

虎尾 湧人 藍住町

### ○ 佳作 5点

中嶋 新 徳島市

宮内 和樹 三好市

大平 耕史 那賀町

鈴木 智恵子 那賀町

辻 ひとみ 吉野川市



## 第40回 林道優良維持管理者

### ( 知事賞 )

管理主体	代表者	路線名
つるぎ町	つるぎ町長 兼 西 茂	白井線

### ( 会長賞 )

美波町	美波町長 影 治 信 良	玉厨子伊儀谷線
-----	-----------------	---------

## 平成29年度 優良工事施工者

### ○ 徳島県治山林道協会会長表彰 治山事業

海部郡海陽町	株谷田組	谷田 勝良
那賀郡那賀町	株小野組	小野 恭補
三好市	株元木土建	元木 啓悟

### 林道事業

海部郡海陽町	多田工業(株)	多田 久仁男
三好市	株西村建設	西村 裕
勝浦郡上勝町	勝浦建設(株)	廣安 稔子

### 森林整備事業

美馬市	株ウッドピア	松家 貞夫
-----	--------	-------

平成三十年度

# 治山林道・四国地区協議会開催

平成三十年度 治山林道・四国地区協議会が、五月二十五日徳島市阿波観光ホテルにおいて来賓を招き、四国地区の行政、協会関係者参加のもと盛大に開催されました。後藤議長の挨拶で始まり、来賓挨拶から平成三十一年度治山林道事業に関する要望事項の要望説明と審議があり、その後林野庁大政課長と日本治山治水協会津元専務理事から全国の取り組みについての説明がありました。

今回お忙しい中、来賓として御出席頂いた方々は次のとおりです。

林野庁森林整備部治山課 大政課長様 久積長寿命化推進官様、徳島県農林水産部農林水産基盤整備局 板東局長様、井関森林整備課長様、日本治山治水協会 津元専務理事様が来賓として出席されました。これからも協会としましては、この様な機会を設け、さらに国や県への予算獲得に向けた要望や陳情の取り組みを行ってまいりたいと考えております。

なお、今回取りまとめた要望書につきましては、平成三十年六月二十日に林野庁長官、林野庁関係課、財務省主計局、県選出国会議員に陳情と説明を行い、ご理解をいただきました。





# 第三十回施工委員会を開催

第三十回施工委員会が六月一日、徳島市の徳島県建設センターにおいて、徳島県からの井関森林整備課長をはじめ、各県民局の県関係者の出席を得て開催されました。まず、県担当者から地域ブロック（全国）の要望事項に対して林野庁見解が報告されました。次に、県内各支部からの要望事項について各委員から要望後、県担当者から見解等改善についての説明がありました。

近年、新工種、入札制度、さらには新工種の導入など、その早い変化に対応できず非常に苦慮する事態が生じています。このような機会に最新の情報を共有する体制を整え、適正に対応できるように進めてまいりたいと考えております。

平成三十年度改善要望についての見解は次のとおりです。

## 平成三十年度改善要望についての見解

### 改善要望事項

#### I 治山・林道共通事項

##### 1 急斜面における掘削作業について

現在、積算では急斜面における掘削作業は人力掘削による設計が大半となっている。人力による急斜面の掘削は非常に危険であり作業効率も落ちる。昨今の担い手確保や安全な作業環境を提供するためにも「セーフティクライマー工法」等の掘削工法を設計・積算時に組み込みをお願いする。

【吉野川】

##### 2 法面工における市場単価の積算について

平成二十八年一月一日より、安衛則（安衛則五三九条の二）により、ロープ高所作業を行うときは、身体保持器具を取り付けた「メインロープ」以外に、安全帯を取り付けるための「ライフライン」を設ける必要があり、これによる法面作業時の移動距離が少なくなったため、現行の市場単価では施工が困難となっている。安衛則の改正に伴う施工量の減少による施工単価については、柔軟な対応をお願いしたい。

【吉野川】

### 見

##### 1 急斜面における掘削作業について

掘削工法につきましては、現場環境や安全対策を見据えた適切な設計積算に努めてまいります。

##### 2 法面工における市場単価の積算について

施工単価につきましては、現状に合った単価の見直しを実施しています。

### 解



3 土工について

【美馬】

現在、県土整備部ではICT (information and communication technology) 建機を用いたICT土工が推進されており、積算基準や各種要項が整備されている。治山事業や林道事業においても、生産性向上のためにICT土工を推進し、積算基準や要項等の整備を早急にお願いしたい。

3 土工について

現在、国（林野庁）での取り扱いはありません。国の方針を見据え今後対応してまいります。

4 モルタル吹付工について

【三好】

設計で計上されるモルタル吹付は市場単価を適用し、施工規模・施工条件・時間的制約を受ける場合単価補正されているが、山間僻地部等での施工においては、地区補正等はされていない。諸資材（砂）と同様に地区単価（補正）を計上していただきたい。

4 モルタル吹付工について

現場条件等により設計積算の補正は可能ですので対応してまいります。

5 現道の補修について

【三好】

工事現場までの機械・資材搬入路において、工事車両の通行や大雨等により幾度（着手前・施工中・完成時）となく補修を実施する場合があります。補修に係る費用を設計に計上していただきたい。

5 現道の補修について

現場状況により対応可能ですので監督員との協議をお願いいたします。

6 農林水産部発注工事の情報共有システム（ASP）の取り組みについて

【美波】

農林水産部発注工事での実施予定件数などの取り組みをお願いします。

6 農林水産部発注工事の情報共有システム（ASP）の取り組みについて

現在、国（林野庁）での導入はなく、今後国の動向を見据え検討をしてく必要があります。

7 農林水産部発注工事の設計積算歩掛の公表について

【美波】

現在、国直轄工事の入札公告時には設計積算の歩掛けの詳細を全公表している。農林水産部発注工事においても設計積算の歩掛け公表の検討をお願いする。（徳島県森林整備事業設計標準歩掛等H29・10を除く歩掛）

7 農林水産部発注工事の設計積算歩掛の公表について

公表につきましては、県統一の見解ですが、全てホームページでの公開は困難です。各発注機関の閲覧をお願いいたします。

8 工事の早期発注について

【那賀】

標高が高い場所での発注時期が八月頃になると、工期が積雪時期と重なり、年度内に完成するのが厳しくなる。また、積雪時期に施工することにより、品質的にも問題が生じる可能性がある。積雪時期までに完成できるように早期発注をお願いしたい。

II 治山事業

9 索道設置工がある場合の工期の設定について

【徳島】

索道の設置業者の人員の削減、また発注時期が同時期の工事が多く設置時期が重なり、順番待ちになり工事が手待ちになることが多い。やむをえない場合、工期の延伸をお願いする。

10 仮設工（索道設置・撤去）における工期設定について

【吉野川】

発注時期等が他工事と重なった場合、索道設置業者が少ないため、設置・撤去時期が重複する場合があるので工期設定の配慮をお願いしたい。（着手日選択型など）

11 治山ダム工事の土工について

【三好】

治山ダム施工地周辺に十分なヤードがない場合、掘削土の処理に苦慮している。無理して上流部に仮置きした場合、豪雨時に流出の危険もあり、また、作業の安全も考え下流部に仮置きし索道を利用して埋め戻し作業を行う場合があるため、現状に見合った設計計上をお願いしたい。

12 山腹工事等における簡易索道の費用の計上について

【那賀】

山腹工事でのラス張り等の緑化資材を広範囲に送らなければならない時、簡易索道を設置する場合がある。この様な場合、事前の協議により計上をお願いしたい。

8 工事の早期発注について

現場でのご苦労は承知しております。今後とも出来るだけ早く早期発注に努めてまいります。

9 索道設置工がある場合の工期の設定について

現状につきましては承知しています。監督員との協議により進めていただきたいと思えます。

10 仮設工（索道設置・撤去）における工期設定について

右記に同じ。

11 治山ダム工事の土工について

現場状況により対応可能ですので監督員との協議をお願いいたします。

12 山腹工事等における簡易索道の費用の計上について

現場状況により対応可能ですので監督員との協議をお願いいたします。

13 コンクリートポンプ打設の場合のスランプ値について 【徳 島】  
 コンクリート21ー8ー40で打設しているが、ポンプ車打設の場合において、配管距離、まがり、勾配、気温などの状況によりスランプ値の変更をお願いしたい。

14 コンクリート打設の使用機械について(標準歩掛として要望) 【美 波】  
 治山工事で索道を用いて運搬・打設を行う場合、作業員の安全を確保するため、打設箇所近辺まで索道運搬し、定置式コンクリートポンプ機を使用し打設作業を行う工夫をしている。安全確実な作業を行う上でも、コンクリート打設の1つの方法として定置式コンクリートポンプ機の設計をお願いする。

15 危険木(流木・倒木)処理にかかる安全対策について 【美 波】  
 災害復旧工事箇所においては、危険木等が散乱し撤去時に危険を伴う状況である。危険木処理に必要な安全対策が、共通仮設費の定額経費で賄えない状況もあることから積み上げ経費に算入頂ける方法などの検討をお願いしたい。(例えば複数の実績を考慮し、m当たりの単価等を算出できる方法など)

### III 林道事業

16 木材搬出費の計上について 【徳 島】  
 支障木伐採搬出による、所有者の指定場所(木材市場等)までの運搬経費を計上をお願いします。

13 コンクリートポンプ打設の場合のスランプ値について  
 現場条件により対応可能ですので監督員との協議をお願いいたします。

14 コンクリート打設の使用機械について(標準歩掛として要望)  
 現在、定置式コンクリートポンプ機の歩掛りはありません。現場状況を勘案した方法について監督員との協議をお願いいたします。

15 危険木(流木・倒木)処理にかかる安全対策について  
 共通仮設費に含まれるもの以外について積み上げ安全費または仮設費等で計上することは可能です。現場状況に応じ監督員との協議をお願いいたします。

16 木材搬出費の計上について  
 立木補償につきましても取り扱いは、原則、支障木の運搬も含んで所有者の対応となっておりますのでよろしくお願いいたします。



17 伐採木の根株処理について

【美 馬】

現場で発生した根株は、破砕機により破砕した後、現場に散布している。破砕作業はリース機により行っているのが現状であるが、施工数量にかかわらず運搬費及び一日当たりの賃料が発生するため、根株処理数量での清算では業者負担が大きくなる。現場での歩掛りを取る等を行い、実費での清算で変更をお願いしたい。

18 補強土壁工について

【三 好】

林道工事において補強土壁工の設計が多くみられるが、標高が高い寒冷地や降水量が多い地区は、施工が制限され必要以上に施工日数が長くなり工程管理も難しくなる。また、利用する土砂等の管理（降雨・積雪・凍結等対策）も必要となるため、気象条件等に左右される地区は、コンクリート擁壁で設計するなど検討していただきたい。

19 残土運搬について

【三 好】

土質条件が非常に悪い現場において、降雨等により路面が粘土状になり、ダンプトラックの走行が困難となることから、不整地運搬車での残土運搬作業をおこなっている。現場の条件により不整地運搬車での運搬が必要となった場合、設計で計上していただきたい。

20 舗装・法面工など専用の機械を使用する工事の計上方法の検討について

【那 賀】

舗装・法面などの専門工事で、数量が少ない場合数量単価だけの金額では施工が出来ない場合がある。別途機械設置撤去費を加算することや少量の場合には数量にかかわらず一括計上する等の検討をお願いする。

17 伐採木の根株処理について

根株処理につきましては、原則、現場内処理となっておりますが、産業廃棄物としての処理方法も可能ですので、現場状況に応じ協議をお願いいたします。

18 補強土壁工について

施工時における自然環境や条件の変化に伴い隘路が生じた場合は、その都度監督員と協議を行い適切な処理方法の検討をお願いいたします。

19 残土運搬について

右記に同じ。

20 舗装・法面工など専用の機械を使用する工事の計上方法の検討について

基本的には設計積算において含（共通仮設費等）まれる場合があると考えられますが現場状況により協議をお願いいたします。

# 「森林土木総合技術研修」に参加して

株式会社 元木土建

## 元 木 啓 悟



この度、徳島県治山林道協会からのお薦めで、東京で開催されました「平成三十年度 森林土木総合技術研修会」に参加させて頂いていただきました。

た。研修期間は平成三十年七月二十五日から七月二十七日の三日間で、北は青森、南は福岡までの同業者の方々や治山林道協会職員の方々が集まり参加者二十五名での研修会でした。徳島県からは高越建設(株)の岡村社長との二名での参加でした。

一日目午後からの開始で、研修内容としては①「公共事業を取り巻く諸情勢」②「技術者倫理と継続教育(CPD)」③「治山事業の施工にあたってー治山を知るための基礎知識ー」その後、場所を変えて意見交換会および懇親会がありました。

講義で特に印象に残ったのは、全国各地の治山工事の事例をプロジェクトを使って、森林による保全機能や治山施設の必要性、過去に起こった災害事例等を紹介していただいたことです。また、懇親会では全国各地から参加した様々な立場の方々との意見交換や情報交換も出来た事も貴重な経験となりました。

二日目は九時から十七時までの研修で、①「日本

の路網技術」②「建設業の制度インフラの再構築と対応」③「施工技術の合成と観察」④「森林土木工事と会計検査」という研修内容で、林道開設においての注意点、施工技術(工法)を組み合わせることよっての施工事例等を紹介していただき、観察力を持ちながら施工する事の大切さを痛感しました。

三日目は九時から十二時までの研修で、①「労働安全のヒント」②「森林・林業を支える森林土木事業」の研修内容でありました。

三日間という長い研修でありましたが、どの講義も内容が濃く、森林土木事業に限らず施工にあたってのあらゆる観点からの考え方の重要性、またこれからの企業のあり方などを学ぶことが出来ました。

最後になりますが、このような研修会に参加する機会をいただきました徳島県治山林道協会に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

高越建設 株式会社

## 岡 村 純 夫



「森林土木総合技術研修」については協会報を通じて知っておりましたが、このたび、参加の機会をいただき、七月二十五日から二十七日ま

での三日間の研修に参加させて頂いていただきました。

場所は「全森建」のある永田町ビルの会議室ですが、隣はなんと首相官邸で、警備の物々しさを横目に毎日近くのホテルから通っております。

研修内容は、

- ・ 公共事業を取り巻く諸情勢について
- ・ 技術者倫理と継続教育
- ・ 治山事業の施工にあたって
- ・ 日本の路網技術
- ・ 建設業のインフラの再構築と対応
- ・ 施工技術の合成と観察
- ・ 森林土木工事と会計検査
- ・ 労働安全のヒント
- ・ 森林林業の再生を支える森林土木事業

という、一度にすべてを詰め込んだような濃い内容のものでした。

講師の方は、林野庁、会計検査院関係者、大学教授、専門会社等様々な立場の方で、それぞれのお立場での経験に基づいた講義をしてくださいました。

参加するにあたり、今までは違った視点や初めのお話を少しでも聞くことができればと思っておりましたが、特に、計画の注意点や地質学的な見方や実務での問題解決などについて参考になることが多くあり、知見を広めることができました。

三日間はなかなか大変ですが、技術者は日々の研鑽が大事ですので、目的をもって参加されると勉強になると思いますのでお勧めです。

最後に、お世話いただいた講師・協会関係者の方々には感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 平成三十年七月豪雨における森林土木関係被害について

平成三十年七月豪雨では、台風第七号および梅雨前線の影響により、六月二十八日から七月八日にかけての「長期間にわたる降雨」や、「線状降水帯の形成」による「短時間の記録的な大雨」により、森林の有する山地災害防止機能の限界を超えたことから、「山腹崩壊」や「溪流被害」が多発し、林地や治山施設及び林道施設に甚大な被害が発生しました。この異常な豪雨により、森林土木関係全体で農林

業被害の約九六%を占める三一億五、〇〇〇万円の被害が発生しています。その内訳として、林地及び治山施設の治山関係の被害が八市町村で三五箇所、被害額二億一、〇〇〇万円、また、林道関係の被害は、六市町で三三路線、七三箇所が被災を受け、被害額九億四、〇〇〇万円となっています。特に、三好市では、七月の月間平均降水量の三倍を超えるなど、記録的な大雨に見舞

われたことから林地被害が集中し、一四箇所、約二〇haの山腹崩壊等が発生するとともに、林道施設においても、一五路線、四八箇所法面崩壊や路肩崩壊などの被害が発生し、その被害額は、県下全体の約八一%を占める約二五億五千万円となっています。県では、林地被害などの速やかな復旧に向けた取り組みとして、国補事業である「災害関連緊急治山事

## 【参考資料】

森林整備課（8月9日時点確報）

## 7月豪雨関係治山林道関係被害状況とりまとめ

### (1) 治山関係（林地）被害

市町村名	箇所数	被害面積(ha)	被害額(千円)	備考
美馬市	1	0.10	70,000	
三好市	14	20.06	1,585,000	災関治山 (根津木, 西宇) 災関地すべり(白川)
(うち山城町)	(12)	(18.50)	(1,505,000)	
上勝町	3	0.75	92,500	災関治山(蔭行)
佐那河内村	1	0.10	10,000	
神山町	4	0.44	27,500	
那賀町	2	1.00	100,000	
つるぎ町	1	1.00	160,000	災関治山(桑平)
県計 (7市町村)	26	23.45	2,045,000	

### (2) 治山関係（施設）被害

市町村名	箇所数	被害額(千円)	備考
鳴門市	1	10,000	治山施設災(鳥ヶ丸)
三好市	3	115,000	
(うち山城町)	(1)	(100,000)	
上勝町	2	10,000	
神山町	3	30,000	
県計 (4市町村)	9	165,000	

### (3) 治山関係被害（集計）

市町村名	箇所数	被害面積(ha)	被害額(千円)	備考
県計 (8市町村)	35	23.45	2,210,000	
(うち三好市)	17	20.06	(1,700,000)	災関治山 (根津木, 西宇) 災関地すべり(白川)
(うち山城町)	(15)	(18.50)	(1,605,000)	

### (4) 林道関係被害

市町村名	路線数	箇所数	被害額(千円)	備考
神山町	1	4	18,000	大川原旭丸線
上勝町	1	3	5,600	
那賀町	14	15	55,000	星越神戸丸線 他
海陽町	2	2	9,000	石吹越線 他
三好市	15	48	850,400	小川平線 他
(うち山城町)	(8)	(28)	(542,527)	
東みよし町	1	1	2,000	宮本支線
県計 (6市町村)	33	73	940,000	



業」を最大限活用した  
 県営事業の施行、また、  
 林道被害については、  
 「林道施設災害復旧事  
 業」の実施に向け市町  
 への支援などに努めて  
 います。

さらに、国の補助対  
 象とならない災害に対  
 する「緊急的・機動的  
 できめ細やかな対策」  
 や二次被害を防ぐ「災  
 害予防対策」を推進す  
 るための経費として、  
 平成三十年九月議会に  
 おいて、県単独林道事  
 業で一億五千万円、県  
 単独治山事業で二億  
 六千万円の増額補正を  
 計上しています。

今後も国の災害復旧  
 事業と県単独事業を組  
 み合わせた効果的かつ  
 効率的な事業執行によ  
 り、被害箇所を早期復  
 旧を加速し、「中山間  
 地域」における「安全・  
 安心」の確保や、主要  
 産業である「林業の振  
 興」に努めて参ります。



白川地区



根津木地区

## お知らせ

# 平成30年度治山林道技術研修会



### ■日時

平成30年10月30日(火)  
 10時~17時15分

### ■場所

徳島県建設センター  
 (徳島市富田浜二丁目)

### ■主内容:

地域防災等でおなじみの  
 徳島大学教授・環境防災研究センター長  
 中野晋教授を招いての講演を開催いたします。

会員皆様にとって非常に興味深い講演となっております。  
 また本研修会は継続学習認定講習(CPDS)の対象プログラムと  
 なっております。

## 備 忘 録

まずは、この度の西日本豪雨災害により被災されました皆様、また関係者の皆様にお見舞い申し上げます。活発化した梅雨前線に起因します豪雨により徳島県におきましても西部地域を中心に大きな被害を受けました。この施設災害においては激甚災害に指定されましたので、何とか迅速な災害復旧を願います。また全国では、台風、地震等により甚大な災害が引き続き発生しております。今なお多くの方々避難を余儀なくされている状況にあり、早急の復興を祈ります。

## 本協会の主な動向 (5月~10月)

- 5月 25日(金) 平成30年度治山林道四国地区協議会(徳島市)
- 6月 1日(金) 第30回施工委員会  
 19日(火) 平成30年度公益社団法人徳島森林づくり推進機構 通常総会  
 20日(水) 平成30年度全国森林土木建設業協会定時総会(東京都)
- 7月 9日(月) 平成30年度徳島県治山林道協会第1回役員会、第60回通常総会  
 25日(水)~27日(金) 全森建森林土木総合技術研修(東京都)  
 30日(月) 一般社団法人徳島県森林協会第4回通常総会
- 9月 13日(木) 一般社団法人日本治水治山協会総会(東京都)
- 10月 11日(木)・12日(金) 一般社団法人日本治水治山協会全国会長会議(鹿児島県)  
 30日(火) 平成30年度治山林道技術研修会(徳島市)